

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報 (米子市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

●西村みつこプロフィール

1970年/鳥取県米子市東福原に生まれる
福生小、福原中に学ぶ
1989年/米子東高校卒業
テニス部主将で鳥取県代表選手、
大学では同好会全日本代表で日韓交流を経験
1993年/早稲田大学卒業
東京で大手就職情報会社に勤務
営業、人材派遣業立ち上げ
営業支援等に10年半携わる
2003年/ワイン業界へ百貨店、飲食店、
外資系サービス会社創設メンバー等で勤務
最前線で10年余りソムリエ・
接客業の研鑽
2014年/米子市へリターン就職。
サービス会社で人材育成を担当、
ワイン講師を経て現在に至る

●鳥取県中部地震被災の
地元ワイナリー復興支援活動を企画・実施
●ワイン講習会等で
地域食文化振興活動を企画・実施
●鳥取県立教育支援プロジェクトメンバー
観音寺新町在住

●所有資格
・中学/高等学校教諭一級 国語科 免許状
・(一社)日本ソムリエ協会 ワインエキスパート
・スペイン・アンダルシア州シエラ・委員会
公式ペンションアドル
・(一社)日本ソムリエ協会 ソムリエ など



人・食材・自然のいのちを守り、育み、生きる そして、次世代につなぎたい

輝く未来へ、5つの視点



「働く人」に寄り添い、安心・充実の「労働」環境へ

県立ハローワークと民間との連携・活用を促進、語学・ガイド・接客技術などの習得制度を強化、職場メンタルヘルス対策・育児や病後など職場復帰支援等、就業環境の向上を

「生活者」の視点で「暮らしやすさ」をもっと実感

日頃の防災力強化、安心安全に歩けるまちへ整備、買い物難民・通院など日常移動手段の確保、人権尊重とハラスメントやDV、偏見・差別の解消で若者男女・弱者の共生社会実現へ

「自然」を享受し、「健康寿命」を伸ばす

脱マイカー依存・ウォーキング推奨、トレッキング・サイクリング等環境の整備、温泉の利活用、生活習慣病予防・地産地消推進で医食同源、免疫向上等予防医学との連携強化へ

「JUターン」の立場から、将来の「雇用」を創出

農水産業・製造業・サービス業と鳥取大学発の新技術等の6次産業化・販路確保、産学活性化の可能性を引き出し鳥取の魅力アピール強化、観光訪日客・個人旅行客誘致と宿泊拠点多様化を後押し

すべての世代へ「人財育成・教育制度」新設を

食・観光・サービス・起業など、プロ養成専門学校(仮称)の創設を目指す
現役、高齢者のそれぞれが持つ多様なスキルアップのニーズに応える学習機関の設置、「志」を持つ大人・社会人を目標とする子ども教育の推進

真の「食のみやこ鳥取県」を世界の舞台へ

食の安全、品質保証を県独自で制度化し、高いブランドイメージを促進

帰ってきた「米子もんの目」で今、新しい風を起こす



西村みつこ

無所属

明るく豊かで住みよい活力ある郷土 明日の鳥取県のために!!

斉木正一の主張



- ◆農林水産業の振興と活力あふれる産業づくりを推進します。
- ◆災害からの安全・安心な地域づくりに取り組みます。
- ◆地方創生で住んで楽しいふるさとづくりを目指します。
- ◆大交流新時代で地域間交流の促進、交通ネットワークの整備、観光産業の振興に取り組みます。
- ◆教育の充実、子育て施策と福祉の充実を推進します。

昭和23年1月1日米子市石井に生まれる 未来を見据え現場主義に徹し、地域の声に耳を傾け、米子市議3期12年、鳥取県議5期20年(前 鳥取県議会議長)地方政治の長い経験と実績で、誠心誠意、情熱をもって全力で取り組みます。



さいき しょういち

自由民主党



- ▼国保料を協会けんぽ並みに引き下げ
- ▼学校給食の無料化、高校生の通学費助成
- ▼子どもの医療費助成を窓口完全無料に
- ▼障害者の医療費は元の無料に戻す
- ▼中小企業・零細企業の支援を強化
- ▼家族農業を支援し、食料自給率の向上を
- ▼地域循環バスの充実、中海の再生を

力合わせ必ず実現

○消費税10%、9条改憲は「ノー!」

○「市民と野党の共闘」をつらぬく

統計データの改ざん、アベノミクス偽装、モリ・カケ問題の情報隠し、沖縄基地問題での民主主義じゅりりんなど、ウソと強権の安倍政治に、一刻も早く「さようなら」を。

都道府県別の内閣支持率(日経調べ)

47位	沖縄県	28%
46位	福島県	30%
45位	鳥取県	31%
"	長野県	31%
"	山形県	31%
"	岩手県	31%

アベ暴走許さない

議長経験者は、除いて見ます。

議員名	回
錦織陽子	52
澤 紀男	16
浜田妙子	16
森 雅幹	16
内田隆嗣	15
野坂道明	15
松田 正	13

子育て支援策 全国トップクラスに

- 全国一の18歳までの医療費助成
- 第3子からの保育料が無料に
- 産廃、原発いらぬ安心・安全の米子を!
- 産廃処分場ストップを止めろ
- 島根原発動かすな! 廃炉を求めろ
- ムダづかい・お手盛りきびしく批判
- 見通しのない大型公共事業を批判
- 議員報酬引上げや海外視察に反対

断トツの発言52回



にしきおり ようこ

日本共産党

プロフィール

- 米子高専(建築)・建築士
- 九州大学大学院(都市計画)修了
- H29.4 米子市長選に

2万人を超える市民の声を背負い奮闘するも届かず。「女性と弱者の代弁者」として「ひらかれた」政治実現に向け猛チャレンジ中。

だからこそ 皆さんと一緒に私は変えたい

山川ちほは米子市長を目指して、県で学んで戻ってきます!! - 私にチャンスをください!! -

医療都市 米子

民間の流れ 米子の特性 生かす

商都米子といわれたが H27には卸売・小売 医療福祉 働く人の割合比率 ※H27 国勢調査

地域医療情報システム 2016 医師 病床数 全国平均 2倍!!

所得・雇用 ふやすには どうしたら? まず 分析!!

鳥取県の総生産 ワースト1 全国

1人当たり鳥取県民所得 実質 全国 ワースト1 224万 ※H27 内閣府経済社会総合研究所



ちほ 山川

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報 (米子市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会



自民党公認候補
鳥取県議会議員
野坂道明
のさか みちあき

❶ **地域を考える**
女性や高齢者が活躍できるソーシャルビジネスや起業支援策等を推進し、多世代循環型の地域を目指します。

❷ **福祉を考える**
障がい者支援を推進すると共に在宅型の医療介護や地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、真の地域包括支援体制の構築を通して共生社会の実現を目指します。

❸ **教育を考える**
ポランティア活動やインターンシップを積極的に推進し、外部人材の強化・充実を図ると共に伝統文化やクラフ・サークル活動など地域との絆を重視します。また、グローバル人材育成の拠点として先進的プログラムの実施等、教育水準の高度化を目指します。

第二章

感動・交流 「鳥取県」

❹ **経済を考える**
各分野の人材育成支援と共にICTやIoT等の先端技術の活用を促進し、農林水産業や地元企業の生産性向上を目指します。また、地域経済を牽引する観光業の基盤整備と魅力化に取り組みます。

❺ **環境を考える**
公共施設の低炭素化や省エネ化等の推進と共に、再生可能エネルギーの推進と分散型エネルギーシステムの導入による地域活性化を目指します。

❻ **強化を考える**
早急な社会インフラの老朽化対策、或いは避難施設や救済体制の整備、並びに情報伝達体制の強化や防災教育等を推進し、県土の防災力強化と強化化を目指します。

❼ **行財政改革を
考える**
県有資産の有効活用の観点から資産活用推進課も設置され日本初の水力発電のコンセッション等の取り組みが始まりましたが、更なる官民連携の進展と自治体間連携や広域化の促進を目指します。



さわとしおは自然と調和する環境県を目指します!



公明党公認
さわとしお

★災害に強いまち・鳥取県へ!
災害弱者を守る防災対策を推進します!

★『小さな声を、聴く力』 人にやさしい鳥取県へ!
高齢者・障がい者が安心して暮らせる・働ける環境を整備します!

★ソウル便・香港便・クルーズ船等による
地域の活性化 観光県・鳥取へ!
体験型・滞在型観光の整備拡充を推進します!



3期12年 さわとしおの主な実績

- ◆県立皆生養護学校に病弱児の高等部新設(2014.4~)
- ◆あんしんトリプルメールの実現・充実 ※2018.12現在で約40,000人が登録(不審者情報、列車運行情報、大雨・大雪警報、ヒートショック予報etc.)
- ◆「とっとり花回廊」に140万球のフラワーイルミネーションを推進
- ◆米子鬼太郎空港にイスラムの祈祷室を開設
- ◆こどもの医療費助成の対象を18歳までに拡大(2016.4~)
- ◆県営住宅の水道料金徴収方法の改善を実現
- ◆若手新規漁業就業者への補助事業の拡充



はまだ
浜田
たえ
妙子

プロフィール

- 1945年鳥取県で生まれる。
- 松江北高、京都外国語大学に学ぶ。
- 1967年 山陰放送入社。
- 以来、30年間アナウンサーとして活躍。
- 2003年 鳥根大学大学院修士修了。
- 鳥取県議会議員に初当選。
- 4期連続当選し、現在に至る。

〔経歴〕米子市小学校PTA連合会母親委員会委員長、中・高校スクールカウンセラー、米子市男女共同参画条例策定委員、消費生活審議委員、地域福祉計画策定委員、青少年健全育成指導員など歴任。県議会議員として、各種常任委員会副委員長・委員長、鳥取県監査委員、子育て議員連盟幹事長など務める。
〔市民運動歴〕発泡スチロール回収運動、水鳥公園を造る母親の会、自助グループ「なごみの会」、DV被害者支援、犯罪被害者支援など諸活動に参画。

暮らしを守り いのちを守る。

県議会4期16年の経験と、生活者ならではの視点を活かし、安心安全な社会とライフスタイルの実現を求めて働きます。

わたしの政策テーマ

今こそ 人づくりに

- ◎農水林業・自然エネルギー産業などの命の産業の発展
- ◎治療と仕事の両立を支援
- ◎色々な人が集う交流の場の創設
- ◎介護現場の実態調査と改善
- ◎DV被害者の支援
- ◎専門職大学を鳥取県へ

立憲民主党

浜田妙子事務所

〒683-0805 米子市西福原 6-18-11
Tel&Fax 0859-33-1256

ホームページ <http://hamata.jp>

森まさき プロフィール

- 昭和34年11月生まれ
- 真蚊屋中学、米子東高、静岡大学(理学部)卒
- 高校時代は、応援団(応援団長として甲子園に)
- 大学での専攻は植物生態学(富士山の森林限界を研究)
- 米子市役所へ就職 市役所ポト部に所属
- 夏は海釣り、山歩き(尾瀬4回、富士山2回)
- 冬はスキーにのめり込み、大山を拠点に北海道をはじめ海外までも
- 大山山頂から(元谷に向け)滑降したのが自慢
- 友人の白血病をきっかけに県内骨髄バンク支援団体を設立
- 米子市職労委員長を経て、平成14年9月退職し、政治の道へ
- H15年~22年6月末まで米子市議会議員
- H23年~鳥取県議会議員

持続可能な鳥取県を目指します



立憲民主党公認
森まさき

健康寿命の延伸

現在の高齢化率25%が2025年には40%になります。現状の要介護の認定率で推移すれば、介護難民であふれることになります。一方、非正規の若年者が増え、結婚できないことから、非正規職から正規職へ移行ができる仕組みづくりが、労働法制の改善に反対します。

若者の仕事の確保

若者の仕事がないことが、人口流出につながっていることから、若者の仕事創出に向け取り組みます。一方、非正規の若年者が増え、結婚できないことから、非正規職から正規職へ移行ができる仕組みづくりが、労働法制の改善に反対します。

命の基盤である 農林水産業の発展

農業は生命を守る産業として必要不可欠な役割を担っています。農業の再生を図っていくためには、必要不可欠な役割を担っています。農業の再生を図っていくためには、必要不可欠な役割を担っています。

移住定住の推進

自治体が運営する空き家バンクや子育て世代の充実を推進し、移住定住の推進を図ります。移住定住の推進を図ります。移住定住の推進を図ります。

人権施策の推進

あらゆる差別、いじめ問題などを人権の問題としてとらえ、解消に向けた取り組みを行います。人権の問題としてとらえ、解消に向けた取り組みを行います。

子育て環境の充実

鳥取県が日本子育てしやすい県となるよう保育料負担軽減などあらゆる施策を実施します。希望者が全員安心して子どもを預けることができるよう、保育園、放課後児童クラブの充実を行います。

地域を担う ひとづくり

なにより地域を担う人材を計画的につくることを最優先とします。

地域産業の発展

他所から産業・事業所を誘致することより、現在の地域産業のより一層の発展に資する対策に取り組めます。



ホームページ facebook YouTube
後援会連絡先
〒689-3537 米子市古置子304
TEL.0859-39-3190 FAX.0859-39-3191

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報 (米子市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

松田ただしはこどもたちの未来のために 鳥取県を再起動します。



松田
ただし
45才
自民党

プロフィール
昭和48年12月26日生 45才
昭和61年 淀江町立淀江小学校卒業
平成元年 淀江町立淀江中学校卒業
平成4年 鳥取県立米子西高等学校卒業(85期)
平成8年 大阪学院大学経済学部卒業
平成18年 米子市議会議員選挙 当選 自民党推薦
平成22年 米子市議会議員選挙 当選 自民党公認
平成27年 鳥取県議会議員選挙 当選 自民党推薦

米子市立淀江小学校PTA 元会長
淀江地区子ども会育成連絡協議会 元会長
(一社)米子青年会議所 元副理事長・元監事
青少年育成鳥取県民会議 副会長
陸上自衛隊米子駐屯部隊協力会 幹事
自民党鳥取県連 青年局幹事長
MOA美術館鳥取西部児童作品展 副実行委員長
実行委員会

- 誇り こどもたちが「夢」「誇り」を持てる鳥取県を創造します。
- 教育 家庭教育と学校教育のシンクロを図り、豊かな教育を推進します。
- 経済 地元中小企業のパワーアップを図り、こどもたちが将来働く場所を確保します。
- 子育て 「子育て王国とっとり」をさらに推進し、安心して子育てができる鳥取県をめざします。
- 医療・福祉 こどもからお年寄りまで安心して暮らせる「福祉先進県 鳥取」をめざします。
- つながり 国・鳥取県・米子市のパイプ役として全力で働きます。

内田たかつぐプロフィール

学歴
1978年(昭和53年)11月15日 米子市生。40歳。
富益保育園・就小・五千石小・尚徳中・米子東高校を経て、
中央大学卒業後、青山学院大学大学院入学。
在学中、シドニー大・上海財経大へ留学。

政治活動歴
衆議院議員江崎洋一郎事務所を経て、平成18年米子市議会議員初当選(27歳、最年少)。平成23年4月、32歳で鳥取県議会選挙に当選。平成27年4月2期目当選。会派自民党に所属。平成26年1月に長女、平成29年12月に長男誕生で子育て真最中!

役職
株式会社クローバーホールディングス 代表取締役
武内合同会社 代表
以下の保育施設を運営

- クローバー保育園 ●若生クローバー保育園 ●浜坂江津クローバー保育園
- 北クローバー保育園 ●若生第二クローバー保育園 ●鷺宮クローバー保育園
- 中央クローバー保育園 ●上福原クローバー保育園 ●草加クローバー保育園
- 東クローバー保育園 ●住吉クローバー保育園
- 南クローバー保育園 ●江津クローバー保育園

— あなたの1票託してください! — 地方創生で4つの安心をふるさとに



内田
たかつぐ
自民党公認

- ✓ **子育て安心を** 安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- ✓ **女性** 女性が働きながらでも出産・子育てしやすい環境を整備します。
- ✓ **若い世代** 若い世代の働く場所を確保し、経済的な不安の解消に努めます。
- ✓ **福祉と健康に** 医師の確保や鳥取医科大学と連携などを通じ、地域医療の充実を図ります。
- ✓ **高齢者** 高齢の方々、障がいをお持ちの方々、安心して元気に過ごせるよう、制度の充実に取り組みを進めます。
- ✓ **介護** 介護する人・受ける人、みんなが笑顔の介護環境を目指します。
- ✓ **子どもたちの学びに安心を** 子どもたちの基礎的学力向上、体力向上のため、教育環境の充実を図ります。
- ✓ **ネット** ネット犯罪から子どもたちを守るために必要な施策に取り組みます。
- ✓ **地域** 地域の歴史と文化を学ぶ機会を増やし、ふるさとを愛する子どもたちを育てます。
- ✓ **経済地域に活力を** 農業や中小企業など地場産業を支援し、地域経済の活性化を図ります。
- ✓ **若者** 若者定住施策を推進し、活力あるふるさとづくりに努めます。
- ✓ **外国人** 外国人観光客の誘致に取り組み、皆生温泉等の観光振興に努めます。

鳥取県議会議員選挙

投票日 4月7日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の証明書」の提示等により、引き続き鳥取県内に住所を有することの確認を受けて、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

平成31年4月7日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報 (米子市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

鳥取県議会議員選挙

投票日 4月7日(日)

鳥取県議会議員の選挙区と定数



投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を
繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

投票用紙は

県議会議員選挙が薄い黄色、知事選挙が白色

の用紙です。

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の証明書」の提示等により、引き続き鳥取県内に住所を有することの確認を受けて、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。